

令和 7 年度 くらし部会の活動報告

日 時	会 議 名	内 容	具 体 的 活 動
令和 7 年 5 月 28 日	第 1 回会議	・部会長および副部会長選出 ・今年度の活動テーマを決定 ① より豊かな暮らしの在り方を検討する(研修の企画実施) ② いこマイタイムラインのさらなる活用と周知をめざす ③ 生駒の居場所に関わる社会資源を知り、支援者に伝達していく ○支援者交流会の企画実施 ○就労選択支援連絡会議について	自己紹介 ①住まい ②防災 ③居場所 をテーマに各グループに分かれて活動する。
6 月 25 日	第 2 回会議	・避難所運営勉強会について説明(危機管理課) ・いこまつながろ会(支援者交流会)実施に向けて、当日の役割分担やアンケート内容について検討 ・進捗共有 ・グループに分かれて活動 ① 住まいに関する勉強会(テーマ・対象)について検討 ② 市広報に掲載する原稿案が完成 ③ 今年度の活動について検討。次月は高齢者向けの居場所について情報収集を行う。	意見交換 ①住まい ②防災 ③居場所
7 月 23 日	いこまつながろ会(支援者交流会)	【いこまつながろ会】を実施 内容:2 事業所による実践発表とグループワーク 日ごろの実践のなかで感じている悩みや困りごとを話し合い、顔の見える関係性を築く機会となった。	対象:市内にある成人期の日中通所支援をおこなう障害福祉サービス事業所職員 参加者:12 名
	居場所ワーキング	地域包括ケア推進課と対話 ・高齢者の居場所について	情報共有、意見交換
8 月 27 日	第 3 回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)のアンケート共有と振り返り、次回の内容について検討 ・グループに分かれて活動 ① 住まいに関する勉強会(テーマ・対象)について検討 ② いこマイ・タイムラインの更なる活用方法について検討、出張講座を企画 ③ 高齢者の居場所について見学先の選定、見学調整等役割分担	意見交換 ① 住まい ② 防災 ③ 居場所

9月17日	第4回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)実施に向けて、当日の役割分担やアンケート内容について検討 ・グループに分かれて活動 ① 住まいに関する勉強会(スケジュール、内容)について検討 ② いこマイ・タイムラインの出張講座の内容を検討 ③ 見学先について検討	意見交換 ① 住まい ② 防災 ③ 居場所
10月14日	居場所ワーキング	のびのび教室見学	見学参加、意見交換
10月22日	いこまつながろ会(支援者交流会)	【いこまつながろ会】を実施 内容:2事業所による実践発表とグループワーク 日ごろの実践のなかで感じている悩みや困りごとを話し合い、顔の見える関係性を築く機会となった。	対象:市内にある成人期 の日中通所支援をおこな う障害福祉サービス事業 所職員 参加者:12名
11月12日	防災ワーキング	いこマイタイムラインの使い方出張講座	市内事業所 参加者:10名
11月26日	第5回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)のアンケート共有と振り返り、次回の内容について検討 ・グループに分かれて活動 ① 住まいに関する勉強会について検討 ② 出張講座の振り返り ③ 若者が参加できる居場所について意見交換	意見交換 ① 住まい ② 防災 ③ 居場所
12月6日	住まいワーキング	住まいに関する勉強会 テーマ:グループホームの暮らしを知ろう	参加者:20名
12月24日	第6回会議	・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)実施に向けて、当日の役割分担やアンケート内容について検討 ・グループに分かれて活動 ① 勉強会の振り返り ② 2回目の出張講座を企画 ③ 見学先の選定と見学調整の役割分担	意見交換 ① 住まい ② 防災 ③ 居場所
令和8年 1月28日	いこまつながろ会(支援者交流会)	【いこまつながろ会】を実施 内容:2事業所による実践発表とグループワーク 日ごろの実践のなかで感じている悩みや困りごとを話し合い、顔の見える関係性を築く機会となった。	対象:市内にある成人期 の日中通所支援をおこな う障害福祉サービス事業 所職員 参加者:7名
	居場所ワーキング	地域共生社会推進課と対話 ・参加支援事業、GIFTについて	情報共有、意見交換

2月25日	第7回会議	・地域生活支援拠点等整備事業についての進捗の共有と体制整備に関する意見交換 ・進捗共有 ・いこまつながろ会(支援者交流会)の振り返りと今後について検討	意見交換
3月10日	防災ワーキング	いこマイタイムラインの使い方出張講座	市内事業所 参加者:7名
3月11日	居場所ワーキング	カフェわっか(認知症カフェ)の見学	見学参加、意見交換
3月25日	第8回会議	・次年度の部会活動について検討	意見交換

■いこまつながろ会(支援者交流会)

- ・令和6年度当初、日中活動の事業所が協議する場の必要性について部会員より議題があがり、専門部会としての位置づけが必要かどうかも含めて、今後2年間で検討していくこととなった。
- ・支援者同士の顔の見える関係性の構築、ひとり職場の支援者が事業所内で相談できる環境にないことでの孤立を防ぐ、支援の質の向上をめざす、等の目的を設定し、令和6年度は支援者交流会を1回、令和7年度は3回実施した。
- ・全4回実施し、延べ参加者44名、アンケート総数42通のうち、顔の見える関係性を築くきっかけになったと回答した方は42名、日ごろの実践のなかで感じている悩みや困りごとを話すことができたと回答した方は38名で、当初の目的を達成することができたと評価できる。また、アンケート結果から、学びの機会に対するニーズがあることがわかった。令和8年度以降は、日中活動の事業所が協議する専門部会としての位置づけではなく、協議会の中で支援者が学びを深められる場を企画していくこととする。

■「住まい」に関するワーキング

- ・令和6年度に実施した「住まいに関する勉強会」アンケート結果をもとに、令和7年度も引き続きグループホームの暮らしや支援について知る機会となるよう勉強会を実施した。支援者を対象に、グループホームを運営している2事業所の実践発表とグループワークでの情報交換を企画した。
- ・参加者は20名で、すべての参加者が、情報交換や自身の支援を振り返る機会となった、他の事業所の実践を知ることができたとアンケートに回答があった。

■「防災」に関するワーキング

- ・くらし部会で作成した、水害・土砂災害時に焦点を当て、急な判断が迫られる災害時に自分自身の命を守る避難行動の一助となる、障がいのある方向けの生駒市版「マイ・タイムライン」である「いこマイ・タイムライン」に関して、更なる活用と周知に取り組んだ。具体的には、9月号の市広報誌「いこまち」への掲載、及び、市内障害福祉サービス事業所(2ヶ所)への出前講座を実施した。出前講座では、「いこマイ・タイムライン」の使い方動画を視聴後、一緒に作成し、その後記入した内容を発表し合った。防災バッグの中身を記入する際は、イメージがつきやすいように実際の防災バッグの見本を手にとってもらう機会を設けた。

■「居場所」に関するワーキング

- ・多様な居場所が増えてきているが、実際の支援の場で具体的なイメージをもって居場所に繋ぐ支援を実践できるよう、当事者や支援者向けの居場所のマッチングを目指し活動した。
- ・高齢者支援の居場所や若者も参加できる居場所や活動など、多様な分野の居場所について、担当部署との対話や利用者、ボランティア等担い手との対話を実施した。居場所の現状共有と、当事者が参加を楽しむだけではなく、役割を持って参加したい人に向けた居場所へのつながりなど、具体的な意見交換ができ、その内容について部会員にも共有した。

■西和圏域の就労選択支援ワーキングへの部会員派遣

- ・就業・生活支援センターライクからの働きかけで、今年度より西和圏域で就労選択支援のワーキングがスタートした。各自治体の自立支援協議会と事務局からの参加打診があり、生駒市ではくらし部会から、相談支援事業所、就労選択支援事業所、行政の職員が毎月の定例会議に参加し、アセスメントの標準化や制度運用についての検討と、各所の就労選択支援の利用等の状況について情報共有を行った。また、ワーキングで話し合った内容は、くらし部会員に共有した。

■その他参考

地域生活支援拠点等事業

- ・令和 7 年 4 月から、ひとりぐらし体験の対象に精神障害者を追加した。また、くらし部会にて事業の実績報告を行った。

令和7年度　くらし部会

【構成メンバー表】

法　人　名	所　属　等	人数
(社福) あけび	生活支援センターあけび	1人
(社福) いこま福祉会	生活支援センターかざぐるま	2人
(社福) 萌	生活支援センターコスモールいこま	1人
(社福) 宝山寺福祉事業団	奈良県発達障害者支援センターでいあー	2人
奈良西養護学校	進路指導部	1人
(社福) 萌	ひだまり	1人
(社福) ぷろぼの	ぷろぼの生駒事業所	1人
(社福) いこま福祉会	グループホームラベンダー	1人
(社福) 青葉仁会	青葉仁会生駒事業所	2人
(一社) イーデンホール	P a s s o	1人